

# HILLS LIFE

hills  
area magazine  
number 15  
June  
2006

## OMOTESANDO HILLS

特集1  
心地のいい  
朝は、  
ヒルズから  
始まる。  
特集2  
厳選！  
ヒルズの  
腕時計  
「晴」を纏うことの楽しみ

Special Feature  
"Good Morning! from Hills"  
No.1 Interview with Kenichiro Mogi, No.2 Interview with Risa Steinfeld, No.3 Interview with Hajime Mizoguchi





number

2

Instore Art Estnation

# 天つ水展

NATSU Solo Exhibition Water from heaven

天つ水

Water from heaven.

太陽の光を浴びた  
大地の水は、  
空高く舞い降り  
氷の結晶となって  
天の雲を創る。  
そしてその雨に似た  
天からの祈りが  
再び大地へと  
降りそそぐ。



ニューヨークを拠点に活躍するシャンデリア・アーティストの新作がエストネーション六本木ヒルズ店内に登場します。

ESTNATION presents the work of a New York-based chandelier artist working on the vanguard of his craft, setting their Roppongi Hills shop aglow with an extraordinary light!

## 色とりどりの しずくが こぼれ落ちる

きらびやかなプラスチック・ビーズを繋ぎ合わせて作品を生み出すNATSUは、自らをシャンデリア・アーティストと名乗る。まるで何かの生命体にも思える色鮮やかな立体。何故それらを「シャンデリア」と呼ぶのだろうか。

「シャンデリアとは上から降りてきて、人の心を豊かにし、光で空間を包み変える事のできる存在であると思いますが、私の作品もそのもの自体にライトではなくとも同じ役割をします。又、普通のシャンデリアは自分で明かりを灯したり消したりできるように、私のシャンデリアも観る人の気持ち次第で変わります」。

**幼** いころ、紐を穴に通すのに夢中になった彼女は、ビーズを繋ぐことは祈り・観想であり、自然に辿り着いた行為だという。作品の完成体のはっきりとしたイメージがまず頭に浮かび、それを「まるで動物の巣作りのように」ひたすらかたちにしていく。制作過程での迷いはまったくない。「なぜそれ

が存在しているのか、その時にはわかりません。でも偶然か必然かが重なってどンドン、謎解きのようにすべての存在の意味が解明されていくのです。そして彼女は、その存在についての詩を作品に添える。

**本** 展では「雨」をテーマにした作品を発表するが、これもまるで運命ともいえるような出来事がビーズのように繋がっていた。

「昨年のアリゾナ旅行で、乾ききった砂漠やホビ族の文様から、ネイティブアメリカンの雨への祈りを実感したのですが、ニューヨークに帰ってから、随分前に次に創りたいと思って描いていた作品のデッサンが雲と雨だったことに気がきました。その後、本展覧会の担当のかたから「雨」というテーマのご提案があった。瞬間、その作品しかない!と私の中で、一瞬にして全て繋がりました」。

魂の声に今日もじっと耳をすましますNATSU。この六本木に彼女はどんな雨を降らせてくれるのだろうか。

### NATSU

シャンデリア・アーティスト。1976年生まれ。ニューヨーク在住。女子美術大学士号修了。2004年Hammond美術館での個展「月の都」がニューヨーク・タイムズに賞賛を受ける。2006年NJ州現代美術センター主催のAljira Emerge受賞。http://www.natsuuniverse.com



#### Data

会場/エストネーション六本木ヒルズ店  
(六本木ヒルズビルサイドけやき坂コンプレックス1F・2F)  
期間/6月10日(土)~6月30日(金) 時間/11:00~21:00  
TEL/03-5220-0205